

パフォーマンステスト「バースデーインタビュー」(第8時)

|        |                                                                                                                      |
|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 測る力    | 話すこと [やり取り] : 誕生日とほしいものを伝え、質問に応じられるか (知識・技能 / 思考・判断・表現)                                                              |
| 形式・時間  | 先生と1対1で約1分×全員。教室前方のテスト席で (待機イス1つ)。活動シート2の「わたしのカード」を持って来てよい。                                                          |
| ことばの条件 | 黒板の型 (When is your birthday? / My birthday is .... / I want ....) と、月・日づけのカレンダー表は掲示したままでよい。絵カード (提示用1部) はテスト席に置いておく。 |

35人を回す テスト中、ほかの子は何をしているか (これが崩壊しない鍵)

| グループ       | やること                                     | 用意する物           |
|------------|------------------------------------------|-----------------|
| A (テスト中の班) | 順に呼ばれてテスト席へ。呼ばれる前と終わったあとは、席でBと同じことをする    | 自分のカード (活動シート2) |
| B          | バースデーライン・班の中でミニ版 (小声で)                   | 活動シート1          |
| C          | 絵カードのミッシングゲーム (1枚かくす→英語で当てる・かくす役は交代・小声で) | 絵カード (班用)       |
| D          | 振り返りカードの「単元のまとめ」を書く (書けたら席でBと同じことをする)    | 振り返りカード (学校のもの) |

1班終わるごと (9~10分) に役割がA→B→C→D→Aと1つずれる (テストを終えた班がBへ、Dの班が次のテスト班へ)。1班8~9人・約1分×35人で35~40分。呼ぶ順は名簿順でなく班ごと (待機イスに座るのは呼ばれる直前の1人だけ)。終わった子は、聞かれたことを話さない——後の子が思い出しテストになる。誕生日を言いたくない子は、先生の質問を What month do you like? に替え、「好きな月と日」 (May 5th など) で答えてよい——答え方が同じなので同じ基準で見る (前もって本人と決めておく)。



## 先生の質問カードと、評価しないこと

**先生の質問カード** この順に聞く（子どもによって2～3問でよい）

- 1 Hello! How are you?**  
（あいさつ・緊張ほぐし）
- 2 When is your birthday?**  
（月＋日づけて答えられるか。月だけでもb相当で成立）
- 3 Oh, nice! What do you want for your birthday?**  
（I want .... でほしいものを言えるか。カードを見せながらでOK）
- 4 (答えに応じて) A cake? Me, too! / Sounds nice!**  
（先生のリアクションに反応を返せるかも見どころ）
- 5 (ここで3秒、だまって待つ)**  
（質問が返ってきたら思判表a。出てこなければ次へ）
- 6 Thank you! See you!**  
（お別れまでがテスト）

**評価しないこと** 序数の細かい発音（fifteenth など）は減点しない。in の有無（in May / May 5th）も評価しない。ほしいものの中身・値段・実際にもらえるかどうかは評価と一切無関係——「a picture from my family」も「a video game」も同じ満点。

ルーブリック（3観点）と記録シート

| 観点                   | a（十分満足）                                                                                                        | b（おおむね満足）                                                   | c（支援が必要）→その場でする支援                                      |
|----------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|
| 知識・技能                | あいさつから始めて、When is your birthday? に月＋日づけて答え、I want .... でほしいものまで、あいさつからお別れまでを続けて伝えられる                           | 支えの質問やカレンダー表の助けを借りて、誕生日（月だけでもよい）とほしいものを1文ずつ言える（どちらか一方だけでもb） | カレンダー表や絵カードを指さして単語（May! cake!）で伝えられる→表と一緒に指しながら1文だけ再挑戦 |
| 思考・判断・表現             | 2つの質問それぞれに合う答えを選び、先生のリアクションに反応（Me, too! / Really?）を返したうえで、間があいてもHow about you? など自分からの質問を1つ返して、やり取りを落とさずに続けられる | 質問に合った答えを返せる                                                | 質問と答えがずれる→質問をゆっくり言い直し、絵カード2択で選ばせる                      |
| 主体的に学習に取り組む態度（単元全体で） | カレンダーづくりで多くの友だちに自分からたずね、聞き返しや相づちに加えて、質問をもう一つ足してやり取りを続けようとしていた                                                  | 活動に参加し、振り返りに手ごたえが書かれている                                     | →振り返りの視点を一緒に選ぶ（「だれの誕生日をおぼえた？」から）                       |

迷ったらb。cは「できない子」ではなく「次の一手がわかる子」として記録する。

記録シート 名簿順に○を1つ（テスト中はこれ以上書かない）

| 番号 | 名前 | 知技    | 思判表   | メモ（1語だけ） |
|----|----|-------|-------|----------|
| 1  |    | a b c | a b c |          |
| 2  |    | a b c | a b c |          |
| 3  |    | a b c | a b c |          |
| 4  |    | a b c | a b c |          |
| 5  |    | a b c | a b c |          |
| 6  |    | a b c | a b c |          |
| 7  |    | a b c | a b c |          |
| 8  |    | a b c | a b c |          |
| 9  |    | a b c | a b c |          |
| 10 |    | a b c | a b c |          |
| 11 |    | a b c | a b c |          |
| 12 |    | a b c | a b c |          |

この用紙は12行。名簿の人数ぶん印刷して使う（3枚で36人）。態度（主体性）はテスト当日でなく、単元全体の振り返りカードと帯の様子で見る。

## この単元の所見文例（通知表・指導要録に）

テストと振り返りカードの記録から、そのまま使える形で。名前・活動名を入れ替えて使ってください。

【知技・a】 When is your birthday? のたずね方と I want .... の答え方を正しく使い、「Happy birthday!」の単元のインタビューで、誕生日とほしいものを伝え合うことができました。

【知技・b】 カレンダー表を指さして確かめながら、バースデーラインで My birthday is May 5th. と誕生日を伝えて並ぶことができました。ほしいものも I want .... の文で言えるようになっていきます。

【思判表・a】 聞き取れなかったところを One more time, please. とたのんで確かめ、集めた誕生日とほしいものを月ごとの台紙に整理して、クラスのバースデーカレンダーを完成させました。

【思判表・b】 月だけでは足りないところは日づけまで確かめるなど、取材で集める情報を自分で選びながら、クラスのカレンダーづくりに必要な内容を聞き取ることができました。

【態度】 「4人にたずねる」と自分でめあてを立て、聞き取れないときには One more time, please. と進んで聞き返すなど、粘り強くやり取りを続けました。

【態度】 バースデーラインでは、友だちと英語だけで誕生日を確かめ合って並ぼうと工夫し、最後まで日本語にたよらずに取り組もうとする姿が見られました。

【はげまし型】 ほしいものの絵をそえたカードをていねいに仕上げ、月ごとの台紙にはることができました。カレンダー表を指させば、My birthday is .... と自分の誕生日の月まで言うことができます。

【接続型】 月の名前や日づけ（序数）の言い方に、音声からたっぷり慣れ親しみました。中学校で学ぶ日付や時を表す表現に、実感を伴ってつながる土台ができています。

【発展・★3】 カレンダーづくりの取材では、相手の答えを聞いたところで How about you? を自分から足し、月とほしいものの両方を聞き出して、3～4往復のやり取りを最後まで落とさませんでした。

**書き方の型** ①活動名（具体）／②できるようになったこと（評価規準のことば）／③子どもの姿（1つだけ）の3つで組み立てる（順番は入れ替えてよい）。ほしいものの中身や、家庭でのお祝いの様子には所見で触れない（家庭状況への言及になり得るため）。書くのは「たずね方・伝え方」の成長だけ。★3は「教科書を超えて届いた子」の記録。この★は成績そのものではありません（評価は先生の観点に沿って行います）。